

# 親との距離

**Profile** 1940年静岡県生まれ。さまざまな職業を経て'76年に小説家デビュー、'80年に直木賞受賞。執筆の傍ら、テレビでも活躍。不登校児の支援など、社会的活動にも携わっている。

悩めるあなた、丸ごと受け止めます！

## 志茂田景樹の 連載第12回

# あたためるコトバ

Twitterでの人生相談が大反響の志茂田景樹先生が、読者のお悩みに答えます！

### 同居している義父母と 関係がギクシャク

F・Kさん (46歳)

義父母と長年同居しています。最初は円満な関係でしたが、私が働き出してから「片づけができていない」など小さなことで、すぐ機嫌を損ねます。夫は「親は上司だと思って従え」と言うばかり。私が悪いのですが、辛いです……。

**夫を「改造」すれば  
家族関係も整います**

「私が悪い」なんて思わなくていいんですよ。仕事をしながら家事も完璧に行うのは無理。どうやら義父母もご主人も、あなたへの思いやりが欠けているようです。そこでまずは、ご主人の「改造」を。散歩にでも誘って、軽い会話を増やすことから始めてみて。慣れてきたら、次のステップは

「夫婦会議」。家計・子供の独立後、将来の介護など、様々なテーマで意見交換しましょう。コツは、「私の不満」ではなく「家族の課題」として話すこと。対等に、冷静に語り合うことで、少しずつ信頼関係を築いていくのです。こうしてご主人の中の「妻より両親」という不平等が是正されたら、家族関係のバランスも整います。息子の変化を見た義父母の態度も、きっと変わるでしょう。

### カゲキ先生に相談したいお悩みはこちらへ！

①氏名②掲載希望名③年齢④住所⑤電話番号⑥メールアドレス⑦お悩みの内容を記載のうえ、下記の宛先までメールまたは郵便でお寄せください（電話またはメールで、お悩みに関する質問をさせていただくことがあります）。掲載された方には図書カード¥2,000分をプレゼントします。

【宛先】●メール kageki@karakoto.com ●郵便 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-2 神田TNKビル5F からだにいいこと編集部「あたためるコトバ」係



今月の

### KAGEKI FASHION

花柄シャツをキリリと締める濃色ジャケット。クールさと華やかさの絶妙ミックスでグラマラスな貴公子風に。

### 昔から父が怖くて、 今も気を遣ってばかり

M・Nさん (52歳)

父は79歳。昔気質で怒りっぽく、子供のころは絶対服従でした。今も、話すときはひどく気を遣います。父の好きな相撲の話をし、ひいきの力士をほめそやし……でも父は別に嬉しそうでもなくて。こんな親子関係、本当に疲れます。

**「恐怖」ではなく  
「憐み」で接して**

お父さんとの力関係は、すでに逆転しています。向こうは老人、あなたは立派な大人。だからもう、怖がらなくていいんですよ。それを踏まえた上での、今後の接し方は……今までと同じでOK。でも、接するときの「気持ち」を変えてみて。恐怖感ではなく、「いわり・憐み」を持てば、今より

情がこもった関係が築けるはず。お父さんが知らなそうな、ひいき力士の最新情報をネットで仕入れて、あなたから提供するのもおすすめです。調子を合わせるだけの会話より、きつとお互いに楽しめますよ。



### 義父母の浪費を なんとかしたい！

M・Tさん (43歳)

義父母は浪費家。とくに義母は、パチンコ依存が止まりません。私とは絶縁状態ですが、夫は二人に頼まれて住宅ローンの保証人になるなど、見捨てきれない様子。あの二人になんとか問題と向き合わせたいのですが……。

**義父母の改善より  
夫婦で「自衛」を**

義父母に心を入れ替えさせるよりも大事なものは、あなたとご主人が「身を守る」ことです。保証人になったのなら、将来迷惑をこうむるかもしれません。今、間に弁護士などの専門家に事情を話し、トラブルを防ぐ知恵を借りましょう。地域の無料の法律相談などを、ぜひ利用して。となると、ご両親を助けたいご主人とあなたとの間で、意見が違ふことも出てくるでしょう。でも、ご主人を責めてはいけませんよ。争うのではなく、「一緒に災難を防ぎたい」という気持ちを、こまめに伝えましょう。二人が「同志」でいることが、何より大事です。